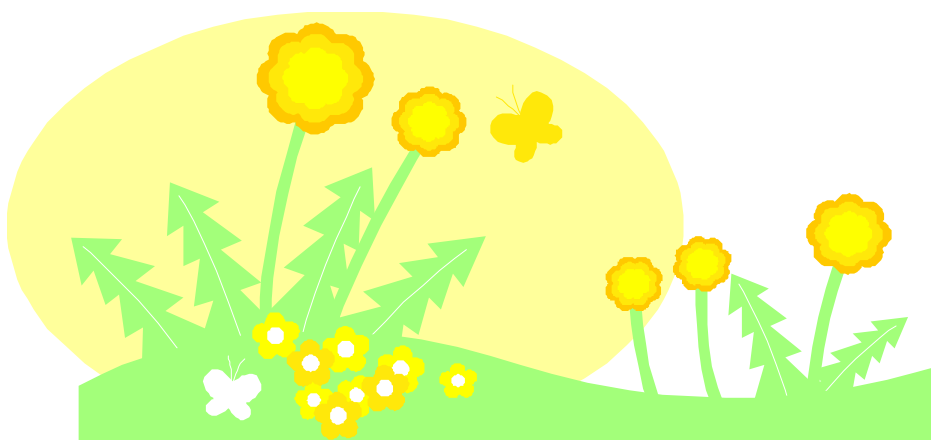




私たち医療スタッフは

- I 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いいたします
- II 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、安全に治療を続けることができるようにお手伝いいたします



ダトポタマブ・デルクステカン (ダトロウェイ) 療法

さま

四国がんセンター
乳腺外科

主治医／担当医

受け持ち看護師

2026年1月30日 作成
2026年9月14日 改訂

化学療法を受けられる方へ

化学療法とは「抗がん剤を使って病巣や目に見えない
全身のがん細胞を攻撃しておさえる方法」です

3週間に1回のペースで点滴を行います
初回は入院で点滴を行い、2回目以降は外来で行います

点滴の時間は、以下のとおりです

- ・初回：約2時間15分
- ・2回目以降：約1時間

抗がん剤の投与時期や量は、患者さんの体調や検査結果によって
変更されることもあります

※治療前には血液検査や歯科受診を必ず行います

入院前の準備について

●スターターキット

外来で、スタータキットの申し込み方法を説明します
治療で注意すべき副作用症状に対する毎日のセルフケアに役立てる
ことを目的に、無償でスターターキットを受け取ることができます

商品が届くまで1週間程度かかるため、早めに申込みをしましょう
届いたキットは、入院時にお持ちください

※キットが届いてない場合は、入院前に点眼薬の購入をお願い
します

<キット内容>

- ・口の衛生管理のためのもの
歯磨き剤、歯ブラシ、洗口液、デンタルフロス
- ・不足しやすい涙液を補うためのもの
点眼薬



●その他の必要物品



- ・スターターキットの点眼薬は、抗がん剤投与後に開始します
キット内の点眼薬が終了した後も、点眼は続ける必要があります
近隣の薬局やドラッグストアで、防腐剤・粘稠成分を含まない
人工涙液を購入しておきましょう
(ソフトサンティア®、なみだロートファイブ® など)

※副作用に関する詳しい説明や対策については、入院後に歯科医師、
歯科衛生士、薬剤師、看護師が説明します

治療前の歯科受診について

- ◆治療時に起こる口のトラブルを予防し治療が円滑に進むように
治療開始前の歯科診察を行っています
- ◆治療前の歯科受診では、以下を行います
 - ・レントゲン検査、歯周病検査、歯石の除去
 - ・歯磨きとうがいの指導
 - ・口内炎（口腔粘膜炎）の対策と指導
- ◆治療中は当院歯科の定期検診をおすすめしています



口内炎や味覚障害、歯茎の腫れや歯の痛みなどがある際は
抗がん剤の副作用の可能性があるので、歯科へお知らせください
特に、今回は口内炎が起きやすい抗がん剤です
口内炎も重症化すると食事が取れなくなることもあります
重症化の防止には歯磨きとうがいが重要です

ダトロウェイ療法では高頻度で口内炎が起こります

1日3回の歯磨きと1日4回以上のうがいを行うことで口内炎を軽くすることができます

●歯磨き・うがいの習慣をつけましょう

- ・定期的に歯磨き・うがいを行い、口の中を清潔に保ちましょう
義歯の場合は、専用ブラシなどを使ってお手入れしましょう
- ・入院前は、スターターキットの洗口液(うがい薬)を使いましょう

●当院の歯科から処方される薬

◆うがい薬

デキサメタゾンエリキシル+生理食塩水または蒸留水

口内炎の予防効果があるとされています

1回16 ml を口に含み、「ぶくぶくうがい」を5分～10分行ってから、必ず吐き出してください

起床時と毎食後、眠前にうがいをしましょう

◆口腔粘膜炎専用薬

エピシル

口内炎の痛みがある場合に使用する薬剤です

口内炎の表面に膜を貼り、表面を保護します

膜を貼ることで痛みがなくなり、食事がしやすくなります



口内炎の痛みがある場合は、歯科にご相談ください

薬の処方と具体的な使用方法の説明は歯科で行います

眼の症状（角膜障害）について

◆ダトロウェイでは、眼の表面(角膜)に炎症が起こることがあります
症状が強くなると、日常生活に支障が出る場合があります
毎日の点眼を続けることで、角膜障害を予防し、重症化を防ぐことができます

◆こんな症状に注意しましょう

- ・眼が乾く
- ・眼がゴロゴロする
- ・眼が痛い
- ・眼が充血する
- ・涙が増える
- ・光がまぶしい
- ・かすんで見える
- ・見え方がいつもと違う



◆**症状がなくても、毎日点眼を続けることが大切です**

毎日の点眼が眼を守ります

治療期間中はコンタクトレンズの使用を控えましょう

治療期間中は眼鏡の使用をおすすめします

眼鏡をお持ちの方は、入院時にお持ちください

◆点眼の目安

1日6回以上を目安に点眼しましょう

（起床時・朝食後・昼食後・15時頃・夕食後・眠前）



◆次のような症状がある場合は病院へ連絡しましょう

- ・眼の痛みが強い
- ・充血が続く
- ・かすんで見える
- ・見えにくい
- ・症状が悪化してい

うがい・点眼実施チェック表

★★★ 抗がん剤投与日の夕食後から始めましょう ★★★

うがい（5回/日以上：起床時・毎食後、眠前）

点眼（6回/日以上：起床時・毎食後・15時・眠前）

実施したら、○をつけましょう（下段は看護師が記入します）

[illegible]

ダトロウェイ治療で最も大切なこと

◆間質性肺疾患について

ダトロウェイでは、肺に炎症（間質性肺疾患）が起こることがあります

早く気づき、早く治療することが重症化を防ぐポイントです

◆こんな症状に注意しましょう

- ・咳
- ・息切れ
- ・息苦しさ
- ・発熱
- ・胸の違和感
- ・いつもより疲れやすい



「風邪かな」「年齢のせいかな」と思っても、ご自身で判断せず病院へ連絡してください

◆間質性肺疾患を早く見つけるために、以下のことが大切です

- ・体調の変化を記録する
- ・パルスオキシメータを活用する
- ・資料で正しい知識を身につける

パルスオキシメータを活用しましょう

◆パルスオキシメータとは

指にはさむだけで、血液中の酸素の状態（ SpO_2 ）を確認できる機器です

間質性肺疾患では、息苦しさを感じる前に酸素の値が変化することがあります
毎日の測定により、体調変化に早く気づくことができます



◆測定ポイント

毎日同じ時間帯に測定しましょう

- ・朝起きて5～10分安静にした後
- ・息苦しさを感じたとき
- ・階段や外出後に気になる症状があるとき

〈測定の流れ〉



数値だけでなく、体調の変化も確認しましょう

息切れ、咳、発熱がある場合は、病院へ連絡してください

◆正しく測るために

次のような場合は、正しく測れないことがあります

- ・指先が冷たいとき
- ・指を動かしているとき
- ・マニキュアやジェルネイルをしているとき

あなたの治療前の安静時 SpO_2 値 _____ %

排便について

普段からご自身の便の性状を確認し、入院中に排便調整の目安や方法を医療スタッフと一緒に確認しておきましょう

排便回数が4回以上増えたとき、下記の表の6（泥状便）～7（水様便）の排便が続くとき、周期的に腹痛があるときはすぐに医療スタッフに伝えましょう

3日以上排便がない、いきまないと便が出ない、便は毎日出ているがすっきり感がなく腹部膨満感などの症状があるときは、排便回数や性状によって緩下剤を使用します

※排便の状況や下痢・便秘の辛さは人によって違います

便の性状について（ブリストルスケール）

ブリストルスケールは、便のタイプ（硬さ）を7種類に分類した世界共通の尺度です

自分の便のタイプを知り、排便調整の参考にしましょう

1	コロコロ便		硬くてコロコロの 糞状の便
2	硬い便		ソーセージ状であるが 硬い便
3	やや硬い便		表面にひび割れのある ソーセージ状の便
4	普通便		表面がなめらかで柔らかい ソーセージ状、あるいは 蛇のようなとぐろを巻く便
5	やや軟らかい便		はっきりとしたしわのある 柔らかい半分固形の便
6	泥状便		境界がほぐれて、ふにゃふにゃの不定形の小片便 泥状の便
7	水様便		水様で、固形物を含まない 液体状の便

入院中の生活の注意点



- ◆治療中は免疫力低下のため、感染リスクが高くなります
マスクの着用、手洗い・うがいをしましょう
入院中、手洗いの動画をテレビの無料チャンネルで視聴できます
- ◆排泄を促すために水分をしっかりととりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まったままの状態は、腎臓や膀胱に負担がかかり炎症を起こすことがあります
尿意を感じたら、我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください
- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます
尿や便に触れても、健康に直接被害を及ぼすことはありませんが
できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- 尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取り、
トイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう



- トイレの後、フタがある場合は、
フタをして水を2回流しましょう
- トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ナプキンや尿とりパッドを使用している場合は、看護師にお知らせください
 - * 使用済みのナプキンや尿とりパッドは、ナイロン袋に入れて口を結びましょう
 - * トイレからナースコールを押して、看護師に渡しましょう
- 尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるよう**患者さんご自身の目標**と**医療スタッフの目標**をあげています

入院は約9日間の予定です

治療後の回復は、個人差があり、体の状態によっては、予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます





今日の目標

- ・治療の必要性、副作用について理解できる
- ・医療スタッフの説明が理解できる
- ・口腔ケアとうがいが継続できる
- ・点眼の必要性と使用方法がわかる

<時間>

<予定>

11:00

入院 【入院後に以下のことを予定しています】

- ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）
- ・検温、血圧測定、身体測定
- ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り
- ・血液検査
- ・歯科受診
- ・医師より抗がん剤治療の説明があります
- ・サインをした同意書は、看護師にお渡しください

12:00

昼食、歯磨き

<お薬>

- ・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします
医師に確認後、続けるか中止するかをお伝えします

<食事>

- ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください
- ・基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります
- ・初回治療のときは、管理栄養士より病院食や食事の工夫について説明があります
2回目以降、味覚障害や食欲不振等がある場合、栄養指導を希望される場合は、お知らせください

- ・看護師が口内炎・角膜障害について説明します
「セルフケアガイド 角膜炎・口内炎」冊子参照

＜必要物品の確認＞

- ・スターターキット
- ・点眼薬（市販）
- ・眼鏡（お持ちの方のみ）

スターターキットが届いてない場合は、入院前に点眼薬の購入をお願いします

「入院前の準備について(その他の必要物品)」参照
スターターキットの洗口液を使ったうがいは、終了します

治療後から病院で処方されたうがい薬を使ったうがいを始めましょう

18:00 — 夕食、歯磨き

21:30 — 消灯

薬剤師から治療の流れや副作用の説明があります
注意点について詳しく記載された冊子をお渡しします
治療が開始したら毎日ダイアリーを記入しましょう



医療スタッフの目標

- ・安心して治療が受けられるように支援します





今日の目標

- 安全に治療を受けることができる
- 治療の副作用について理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

検温、血圧測定

7:30

朝食、歯磨き

過敏症、点滴部位の痛み・血管痛、吐き気・嘔吐、
便秘、下痢について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

12:00

昼食、歯磨き

初回は約2時間15分、2回目以降は約1時間の点滴があります

<午前治療の場合>

10:00 頃から点滴を始めます

点滴開始時に解熱剤を服用します（水を準備しておいてください）
シャワー浴は、朝（9:00頃）または点滴終了後体調に合わせて
行いましょう

<午後治療の場合>

13:30 頃から点滴を始めます

点滴開始時に解熱剤を服用します（水を準備しておいてください）
シャワー浴は、午前中に行いましょう

- 点滴中は、副作用を早期発見するために付き添ったり、頻回に訪室します
- 針の入っているところが、赤くなった、腫れた、痛いときなどはすぐに看護師へ知らせてください
- 点滴のもれを防ぐために看護師が身の回りのことをお手伝いします

<時間>

<予定>

18:00

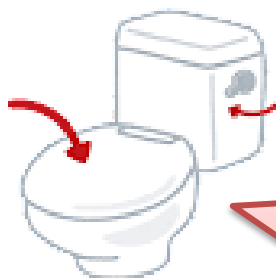
夕食、歯磨き

夕食後から、うがい、点眼をはじめましょう

実施後は、うがい・点眼実施チェック表を記入しましょう

19:00

検温、血圧測定



治療開始後は
フタをして水を
2回流しましょう

21:30

うがい、点眼

消灯

- 点滴中は、トイレなどの歩行時、転倒に注意しましょう
- 点滴台を支えにして歩くと転倒の可能性があります
支えにしないようにしましょう

吐き気の強いときは追加で薬を使う
ことができます
遠慮せず看護師にお伝えください



薬剤師がお渡ししたダイアリーに、体調の変化や
副作用症状について記入しましょう

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- ・治療の副作用について理解できる
- ・副作用への対処方法がわかる

<時間>

<予定>

6:00

起床
うがい、点眼
検温、血圧測定

水分をしっかりととりましょう
チェック表に沿って、
うがい・点眼をしましょう
ダイアリーを記入しましょう

7:30

朝食
歯磨き、うがい、点眼



フタをして水を
2回流しましょう

10:00

検温、血圧測定

治療2日目：脱毛、治療3日目：倦怠感
について説明します

「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

「がん治療による脱毛に備えて(頭髪編)」パンフレット参照

12:00

昼食、歯磨き、うがい、点眼

吐き気の強いときは、薬を使う
ことができます
遠慮なく看護師にお伝えください



15:00

点眼

18:00

夕食、歯磨き、うがい、点眼

21:30

うがい、点眼
消灯

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- ・日常生活の注意点について理解できる
- ・副作用への対処方法がわかる
- ・間質性肺疾患の初期症状を説明できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
うがい、点眼

7:30

朝食、
歯磨き、うがい、点眼

10:00

検温、血圧測定

治療5日目：味覚障害、食欲不振

治療6日目：肺障害、息切れ・動悸

について説明します

「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

12:00

昼食、歯磨き、うがい、点眼

通院治療室についての説明と見学を行います

「外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ」ページ参照

15:00

点眼

退院までに歯科受診があります



18:00

夕食、歯磨き、うがい、点眼

21:30

うがい、点眼
消灯

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます



水分をしっかりとりましょう
チェック表に沿って、
うがい・点眼をしましょう
ダイアリーを記入しましょう



今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・副作用への対処方法がわかる
- ・病院に連絡する目安を説明できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
うがい、点眼

水分をしっかりととりましょう
チェック表に沿って、
うがい・点眼をしましょう
ダイアリーを記入しましょう

7:30

朝食
歯磨き、うがい、点眼

9:30

血液検査

10:00

検温、血圧測定

血液検査の結果と骨髄毒性について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

感染予防のために手洗い・うがいは
しっかりしましょう

12:00

昼食、歯磨き、うがい、点眼

退院後の日常生活について説明します
「退院後の日常生活について」ページ参照

15:00

点眼

18:00

夕食、歯磨き、うがい、点眼

21:30

うがい、点眼
消灯

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・退院の準備をすすめられるように支援します





今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
うがい、点眼
検温、血圧測定

水分をしっかりととりましょう
チェック表に沿って、
うがい・点眼をしましょう
ダイアリーを記入しましょう

7:30

朝食、歯磨き、うがい、点眼

お預かりしている薬、退院の薬がある場合は
お渡しします
次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院
退院前に忘れ物がないようご確認ください
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので
2階医事受付窓口でお支払ください

医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安や心配ごとがないように支援します



外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ

①受付



B受付

②採血
中央処置室



☆採血時のお願い☆

採血時に注意することは退院前に確認しておきましょう
点滴予定の腕とは反対の腕で採血しましょう



採血結果が出るまで、
約30分～1時間かかります

A受付

呼吸器科
消化器科
緩和ケア
感染症腫瘍内科
骨軟部腫瘍・
整形外科
禁煙外来

B受付

泌尿器科
血液腫瘍内科
原発不明がん
診療科

③診察受付

④診察

治療決定

C受付

乳腺外科
婦人科
形成外科
頭頸科・甲状腺腫瘍外科
歯科
病理診断科

S受付

消化器内科
糖尿病内科
内分泌内科
循環器内科
皮膚科
眼科
精神科
脳神経外科
リンパ浮腫
がんゲノム医療外来

S受付

⑤治療
通院治療室

看護師が点滴の針を刺し、
確認後に抗がん剤を開始します

治療終了



⑥会計

検査や他の診療科で診察のある方は、各受付へ

検査の説明を受ける方は、予約センターへ

予約センターは
B受付の隣です



処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

***お薬の処方がある方へ**

6番窓口で処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行うため、少し時間がかかります。
- 入室時に、ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料で利用できます。ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- 付き添いは原則ご遠慮いただいております。ご家族の待機場所として「暖だん」や「図書コーナー」などがあります。
- 副作用や日常生活で困っていることや相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。



退院後の日常生活について

●食事

バランスの良い食事を心がけましょう
食欲がないときは、無理をしないで食べやすい
ものを食べられるときにとるようにしましょう



白血球が減少している時期は、残り物、賞味期限切れのものを
召し上がらないようにご注意ください

味覚障害や食欲不振などがある場合、栄養指導を希望される場合は
お気軽にお声かけください

自宅で調理をしている方など、一緒に管理栄養士の話を知りたい
方がいる場合は、一緒に来院してください

また、口内炎による口の中の痛みで食事が取りにくい場合は、
当院歯科へご連絡ください

●活動

体調に合わせて散歩や軽い運動を取り入れましょう
疲れたときは十分に休息をとりましょう
睡眠時間を確保しましょう

次のような症状がある場合は病院へ連絡してください

- ・息切れが強くなった
- ・階段や歩行で以前より苦しくなった
- ・動くと咳が出るようになった

●お薬

医師の指示どおりに服用しましょう

うがいや点眼は、治療中は継続してください

点眼薬がなくなった場合は、ご自身で追加購入してください

* 37.5℃以上の発熱がある場合の対応について

抗生物質を処方されている場合は、医師の指示どおり服用してくだ
さい

抗生物質は飲み始めたら処方されている期間は飲み続けましょう
ただし、飲み始めて「湿疹がでる」「下痢がひどい」など異常が
あれば内服をやめ、がん相談支援センターに相談しましょう

●清潔

皮膚に付着している常在菌を減らすために、可能な限り毎日入浴やシャワー浴をし、体を清潔にしておきましょう

〔ただし、発熱時やだるさが強い場合は控え、温かいタオルなどで体を拭くようにしましょう〕

●口腔ケア

毎食後の歯みがきを続けましょう

うがいを習慣にしましょう

口の乾燥がある場合は保湿を心がけましょう



次のような症状が続く場合はお知らせください

- ・口内炎で食事ができない
- ・痛みが強い

●排泄

規則的な排便習慣を身につけるようにしましょう

便秘のときは処方便秘薬を調整して服用してください

処方されていないときは市販便秘薬を服用してもかまいません
(下痢になったら下剤は中止しましょう)

下痢のときは市販の整腸剤を服用してもかまいません

●パルスオキシメータをお持ちの方へ

毎日同じ時間帯に測定しましょう

例) 起床時、食事前など、5～10分安静にした後に測定

測定値だけでなく、体調の変化も大切です

次のような場合は病院へ連絡してください

- ・SpO₂値が普段より低い
- ・息切れがある
- ・咳が続く
- ・発熱がある



●治療ダイアリー

毎日の体調や気になる症状を記録しましょう

外来受診時にお持ちいただくことで、体調変化の確認に役立ちます
自宅療養中に気がかりなことがありましたら、外来受診時に「治療ダイアリー」をご用意のうえ、主治医にご相談ください

●その他

外来受診は、必ず受けるようにしましょう

外見の変化（脱毛、爪、皮膚のくすみなど）に関して気になることがあれば、患者・家族総合支援センター「暖だん」で情報を用意していますので、お気軽にお立ち寄りください



ウィッグ 帽子 ヘア用品
ネックカバーなど



ウィッグ以外にも
＼ お役立ち製品が色々♪ ／



メイク ネイル用品

治療によって脱毛・肌や爪のトラブルが起こる可能性がある方に
上記展示品の案内や試着を行っています

お住まいの自治体によっては、治療に伴うウィッグに関する助成
制度を設けています

詳しくは本館2階『がん相談支援センター』でご相談ください

※暖だんでの販売は行っておりません

気になる製品については、購入方法をお伝えしています

こんな症状があれば病院へ連絡しましょう

ダクトウェイ治療中に特に注意していただきたい症状

◆間質性肺疾患を疑う症状

- ☐ 咳が続く
- ☐ 息切れがする
- ☐ 息苦しい
- ☐ 37.5℃以上の発熱
- ☐ 胸の違和感や痛み
- ☐ いつもより強いだるさ
- ☐ 「いつもと違う」と感じる



◆□腔粘膜炎（□内炎）の症状

- ☐ □の中が痛い
- ☐ 飲み物がしみる
- ☐ 食事がとりにくい
- ☐ □の中に白い部分や赤い部分がある
- ☐ 痛みで食事や水分が十分にとれない

◆角膜障害・眼症状

- ☐ 眼が痛い
- ☐ 眼が充血する
- ☐ 眼が乾燥する
- ☐ 涙が増える
- ☐ かすんで見える
- ☐ 光がまぶしい
- ☐ 見え方がいつもと違う



◆その他このような症状がある場合もご連絡ください

- ☐ 食事や水分がほとんどとれない
- ☐ 吐き気や嘔吐が続く
- ☐ 下痢が続く
- ☐ 抗生物質を飲みきっても37.5℃以上の発熱が続く
- ☐ 強い倦怠感が続く
- ☐ その他気になる症状

◆パルスオキシメータをお持ちの方へ

- ・ 普段のSpO₂値を記録しておきましょう
- ・ 数値の変化と症状の両方を確認しましょう



以下の場合には病院へご相談ください

- ☐ 95%以下が続く（治療前に95%以上あった方）
- ☐ SpO₂値が治療前より3～4%程度低い
- ☐ 数値は変わらなくても咳や息切れがある

※数値だけで判断せず、体調の変化も大切にしましょう

◆症状が軽いうちの相談が大切です

気になる症状がある場合は、時間帯にかかわらず病院へご連絡ください

早期発見・早期対応のため、可能な限り平日の早い時間帯にご連絡・ご受診ください

様子を見るより、まず相談！



ご家族の方へ

- ◆ご家族の気づきが早期発見につながります
ダクトウェイによる治療では、まれに「間質性肺疾患」が起こることがあります
患者さんご本人は、「年齢のせいかな」「疲れているだけかな」「もう少し様子を見ようかな」と思い、体調の変化を我慢してしまうことがあります
ご家族だからこそ気づける変化もあります

- ◆このような変化はありませんか？

- ☐ 咳が増えた
- ☐ 階段や坂道で立ち止まるようになった
- ☐ 息が上がりやすくなった
- ☐ 動く量が減った
- ☐ 微熱が続く
- ☐ 疲れて横になる時間が増えた
- ☐ 食欲が低下している
- ☐ 「なんとなく元気がない」と感じる



「いつもと違うな」と感じたら、病院へご連絡ください

- ◆ご家族にお願いしたいこと

- ① 毎日の体調変化を一緒に確認しましょう
- ② パルスオキシメータ測定を見守りましょう
- ③ 治療ダイアリーの記録を手伝いましょう
- ④ 気になる症状があるときは受診や電話相談を勧めましょう
- ⑤ 外来受診時は不安や気づいたことをスタッフへお伝えください

- ◆ご本人だけでなく、ご家族の不安や心配ことも大切です
「受診が必要かわからない」
「連絡した方が良いか迷う」
そのような場合も遠慮なくご相談ください
早めの相談が、安全に治療を続けることにつながります



◆病院へ電話する前に確認しましょう

- ☐ 診察券番号
- ☐ 現在の体温
- ☐ 現在のSpO₂値
- ☐ いつから症状があるか
- ☐ 症状がどのように変化しているか
- ☐ 折り返し可能な電話番号

◆「ダトロウェイ治療中です」とお伝えください

◆迷ったときは、まずご相談ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8：30～17：15

四国がんセンター がん相談支援センター

(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】

日直/夜間当直師長

(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更

【平日】 13：00～17：00

四国がんセンター 予約センター

(直通番号) 089-999-1112

